

黒毛和種雌牛の一日当たりの行動時間の季節による差異

谷原礼諭¹・高橋和裕²

(¹香川県農業経営課・²香川県畜産試験場)

【目的】黒毛和種雌牛の行動時間（動態、横臥静止、横臥反芻、起立静止、起立反芻及び採食）に対する季節の影響について検討した。**【方法】**牛の頸部に装着したセンサによるウシの行動モニタリングシステム（U-motion、デザミス）を用いて、香川県内畜産農家において、牛房内で自由に動ける状態で飼養している黒毛和種雌ウシ13頭の分娩前後の1日当たりの動態（歩行及び走行）、横臥静止、横臥反芻、起立静止、起立反芻及び採食時間（分）を記録した。記録期間は2017年11月から2019年7月。季節の設定は3から5月を春、6から8月を夏、9から11月を秋、12から2月を冬とし、それぞれの行動の季節による影響について検討した。**【結果】**動態時間及び起立静止は、夏・秋、春、冬の順に有意に長かった。横臥静止は、冬、春、秋、夏の順に有意に長かった。横臥反芻は、冬、春・夏、秋の順に有意に長かった。起立反芻は、冬と秋及び秋と春で有意差がなく、夏がその他の季節と比較して有意に長く、春が他の季節と比較して有意に短かった。採食は、冬、春、夏、秋の順に有意に長かった（いずれも、 $p<0.05$ ）。特に、冬に比べて夏では動態時間が長くなり、採食時間では冬が長く、夏及び秋が短くなる傾向にあった。

令和元年度第69回関西畜産学会鳥取大会